

# 交通空白の解消に向けて (動産信託の活用)

2024年11月25日  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
法人マーケット統括部

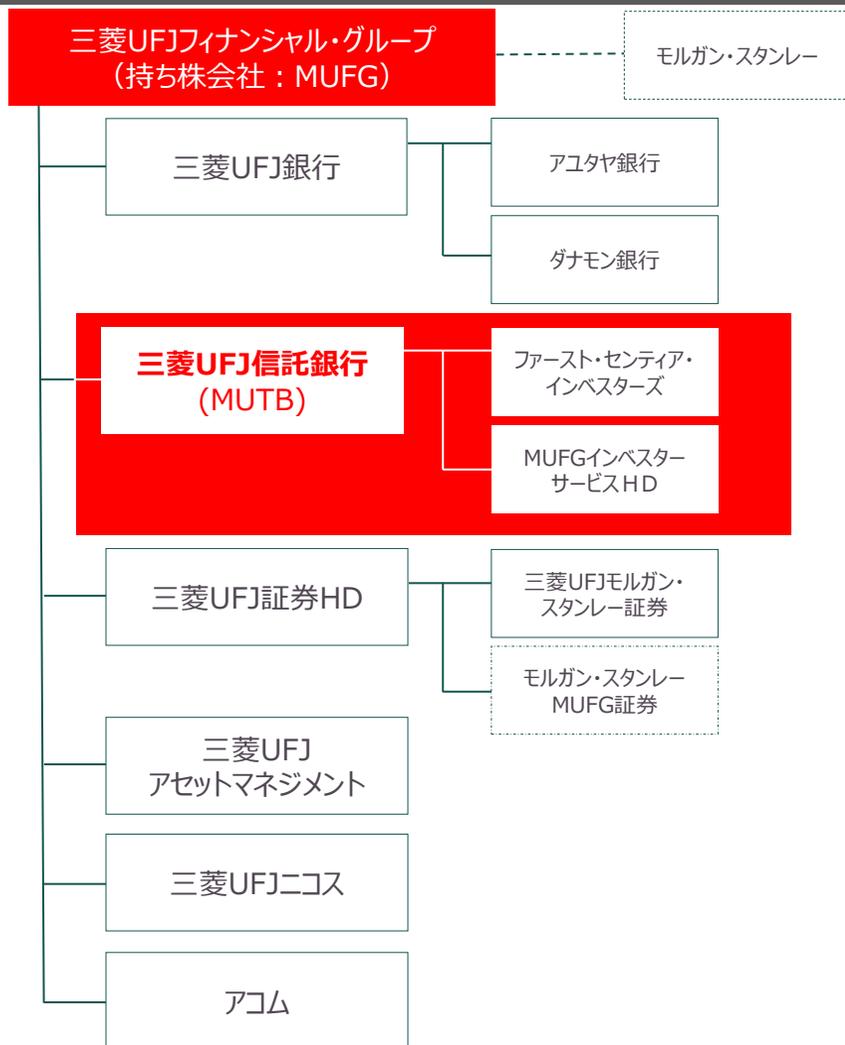
三菱UFJ信託銀行

世界が進むチカラになる。



# 三菱UFJ信託銀行 会社概要

## MUFGについて



## 会社概要



名称：三菱UFJ信託銀行株式会社

設立：1927年3月10日

所在地：東京都千代田区丸の内1-4-5

取締役社長：長島 巖

資本金\*：3,242億円  
連結総資産額：41兆3,437億円  
信託財産額：568兆5,157億円

従業員数\*：6,283人（単体）

拠点数\*：国内 51（支店48、出張所3）  
海外 5（支店4、駐在員事務所1）（\*2024年3月末）

### セグメント情報：

#### リテール部門

#### 法人マーケット部門

法人事業  
(資産金融・事業開発・事業横断)  
不動産事業  
証券代行業

法人マーケット部門を所管

#### 法人マーケット統括部

#### 法人事業開発室

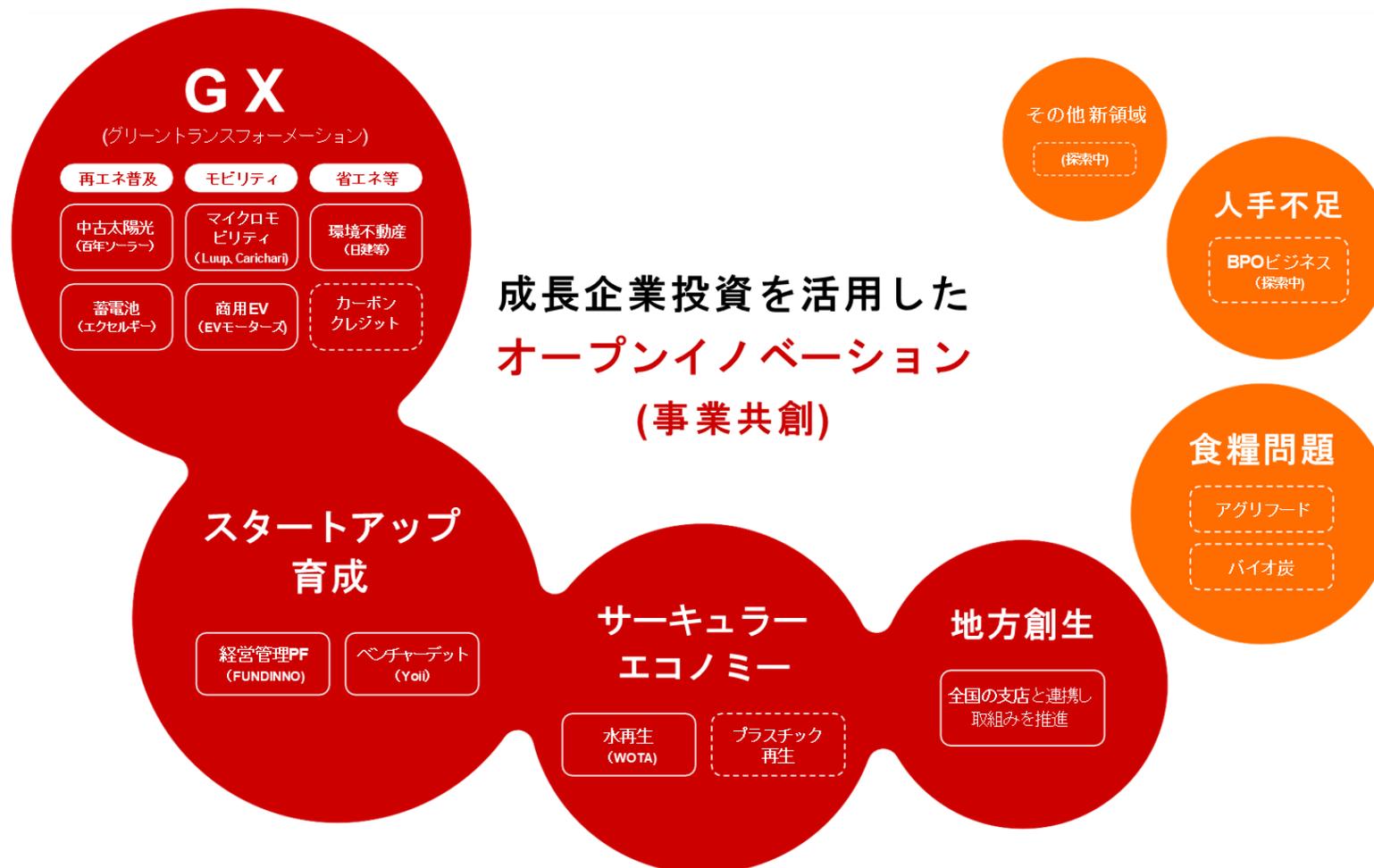
#### 受託財産部門

#### 市場部門

スタートアップや大企業との  
オープンイノベーションによる  
新規事業開発を担当

# 法人事業開発室の取組み領域

- GXを中心としつつ、**社会課題解決に資する領域を幅広く検討**
- **地方創生**については弊社地方拠点とも連携し、地方銀行様・地場企業様との協業を軸に地域へ貢献



## 法人事業開発室の目指す方向

- 事業資産（動産等）を信託の器で包み、投資商品化し、投資家に販売する信託固有の機能を保有
- 単なる出資に留まらず、「新たな資金調達手段」の実現や「事業会社・サービスのファン拡大」を目指しています

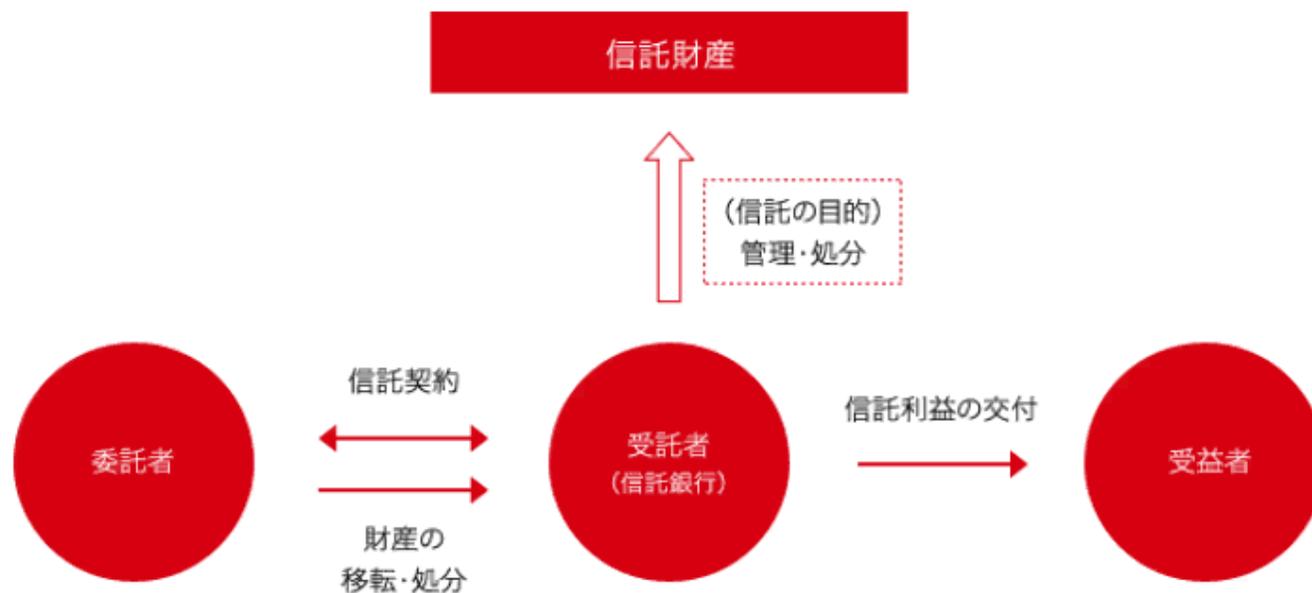


# 信託とは

## ○ 信託の仕組み

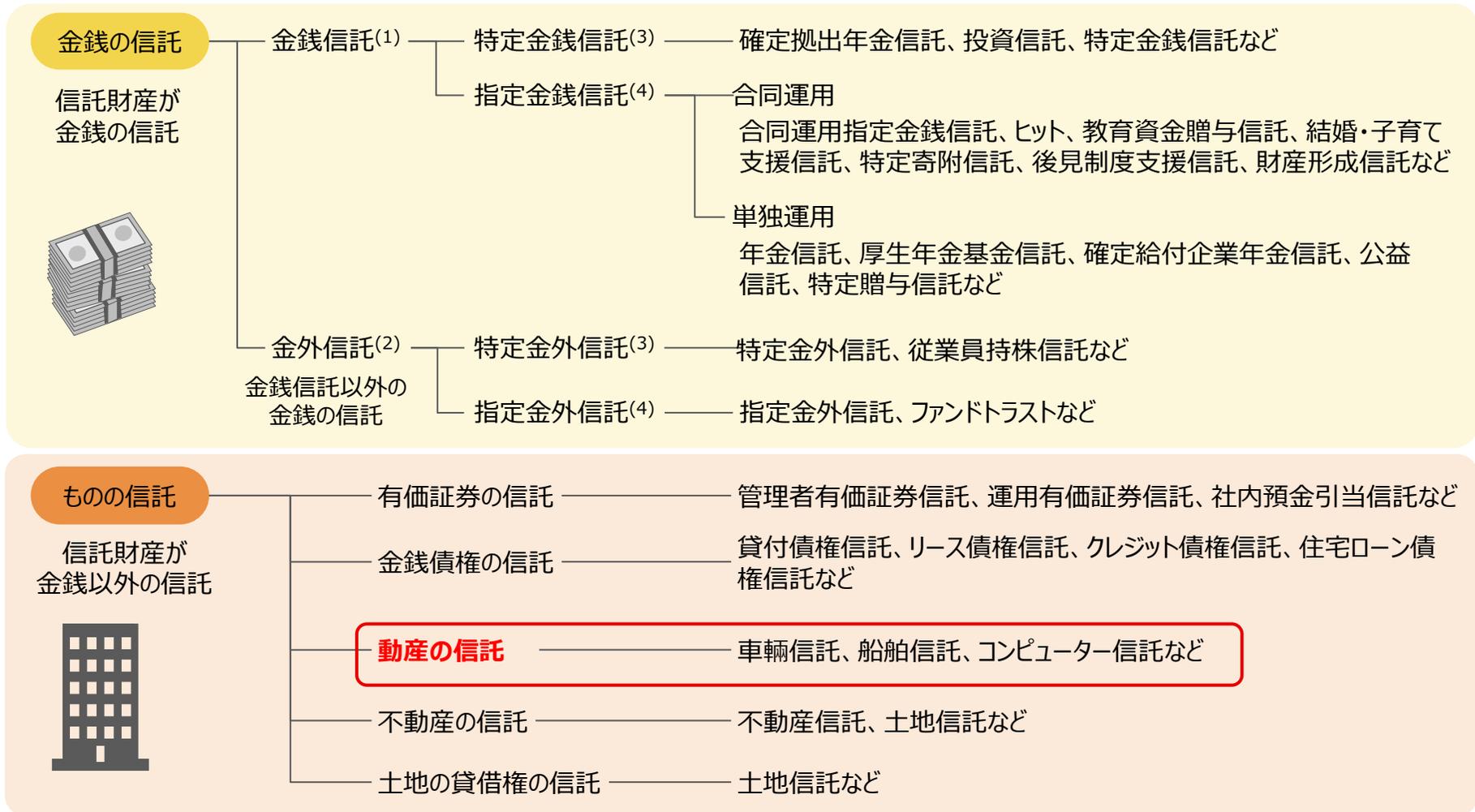
信託とは、委託者が、信託目的にしたがって、所有する金銭や土地などの財産を、自分自身や大切な人（受益者）のために、信頼する人または専門家（受託者）に託し、運用・管理を任せる法的な枠組みです。

信託を利用することで、財産の委託者は、受託者の持つ専門性を活かした資産運用や財産の保全を実現することができます。「大切な人のために、大切な財産を託す」この信託の仕組みが果たす役割は、多くの企業や個人にとって非常に大きなものとなっています。



# 信託の分類

➤ 信託は、その目的、設定方法、受託財産の種類、信託終了時の信託財産の返還方法や運用方法等、様々な観点から分類することができます



# 動産信託の歴史

- 動産信託の一種である鉄道車両信託による資金調達は、国内でもかつては一般的に行われ、信託銀行のプレートを付けた電車は多数ありました
- その後、リースの台頭や鉄道会社の手元資金が潤沢となったことにより、徐々に減少していきました

## 日本の事例

日本では、1956年に鉄道車両信託が始まる

【信託車両プレート（昭和60年 営団地下鉄（銀座線））】



※車両写真はイメージです

## アメリカの事例

19世紀後半、アメリカで鉄道設備信託による資金調達のスキームが発展

【1924年の設備信託（鉄道）のプレート】



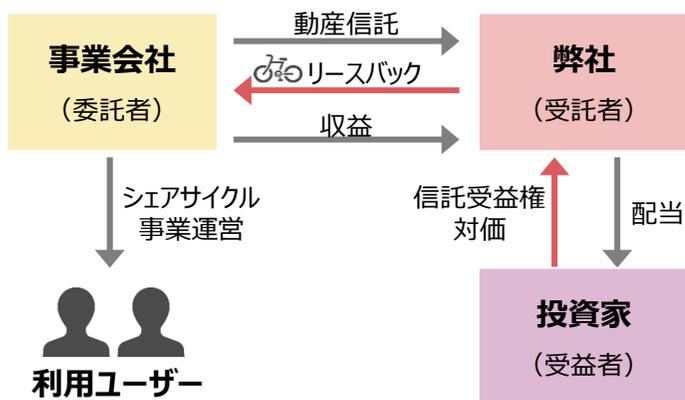
（出所）信託博物館、東京地下鉄(株)HP

（出所）弊社HP（信託博物館）

# 動産信託の復活

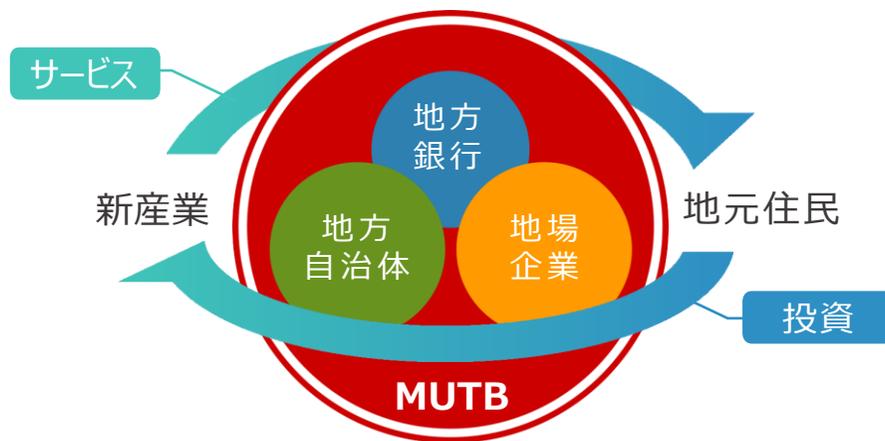
- ▶ 長く取扱いを停止していた**動産信託**を**2023年に復活**しました
- ▶ スタートアップ企業のチャリチャリ(株)様、(株)Luup様が保有する電動自転車を動産信託として受託し、まずは弊社が投資家として投資を行いました。将来的には個人投資家向けの販売を目指しています（**地産地消の金融循環モデル**）

## 動産信託の基本スキーム



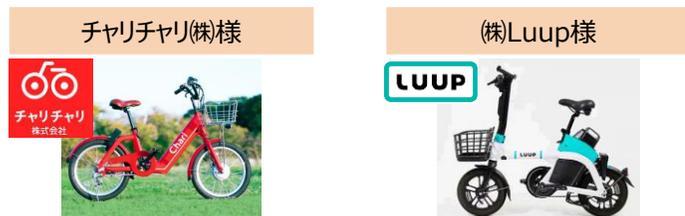
## 当社の目指す姿

### 「地産地消」の金融循環モデルの構築



## 復活後の動産信託事例

チャリチャリ(株)様と(株)Luup様の電動自転車を受託



(出所) チャリチャリ(株)様、(株)Luup様のHPより

## 目指す姿（取り組みSTEP）



**STEP 01**  
協業取組み・  
信託機能提供



**STEP 02**  
法人投資家  
へ販売



**STEP 03**  
個人投資家  
へ販売

# 動産信託の事例①：チャリチャリ(株)様

- 2023年9月、福岡市中心にシェアサイクル事業を展開するスタートアップ企業である、チャリチャリ(株)様が保有する電動アシスト自転車を裏付けとする動産信託を組成（電動アシスト自転車を裏付けとする動産信託商品は本邦初）
- 社会課題である都市交通問題への解消に向けた一助になることを期待
- 今回の投資家は弊社、将来的には法人や個人の方々への投資家を拡大を企図

## プレスリリース抜粋

2023年9月28日

三菱UFJ信託銀行株式会社

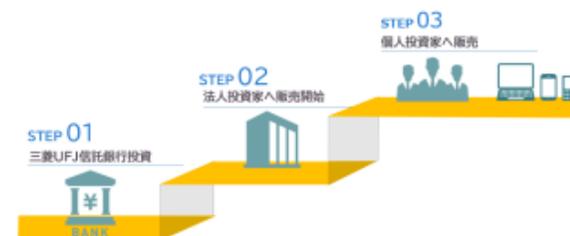
### 本邦初 電動アシスト自転車を裏付けとする動産信託商品組成について

三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長 長島 巖、以下 三菱UFJ信託銀行）は、neuet株式会社（代表取締役社長 家本 賢太郎、以下 neuet）が保有する電動アシスト自転車を裏付けとする動産信託（以下 本商品）を組成いたしました。電動アシスト自転車を裏付けとする動産信託商品は、本邦初の取組みとなります。

近年、持続可能な社会の実現および都市の交通問題は、日本の社会課題となっています。そのような課題を解決する手段としてシェアサイクルが普及し、所有からシェアへの移行が進んでいます。また、移動時にCO2が発生しないシェアサイクル活用は、脱炭素に向けた日本の社会全体の取組みを後押しするものとなります。

本商品は信託の仕組みを通じて、シェアサイクルサービス事業者であるneuetが保有する電動アシスト自転車を信託財産とし、投資家である三菱UFJ信託銀行から資金調達を行うものです。

今後、三菱UFJ信託銀行およびneuetは、投資家を他の法人や個人の方々へ拡大することで、社会・事業者・投資家の循環型社会を目指していきます。



### 【本商品の概要】

名称	九州サイクリングファンド1号
委託者	neuet
受託者	三菱UFJ信託銀行
受益者	合同会社ムーバルトーラス
信託財産	neuetが保有する福岡・熊本に設置する電動アシスト自転車

## 動産信託の事例②：(株)Luup様

- 動産信託復活第2弾として、2024年3月、(株)Luup様が保有する電動アシスト自転車を動産信託
- 本件では、弊社からの出資に加え、(株)三菱UFJ銀行からの融資も組合せた、より高度なソリューションを組成
- 将来的には、外部投資家へ販売できる形として、電動モビリティの投資商品化も検討中

### プレスリリース抜粋

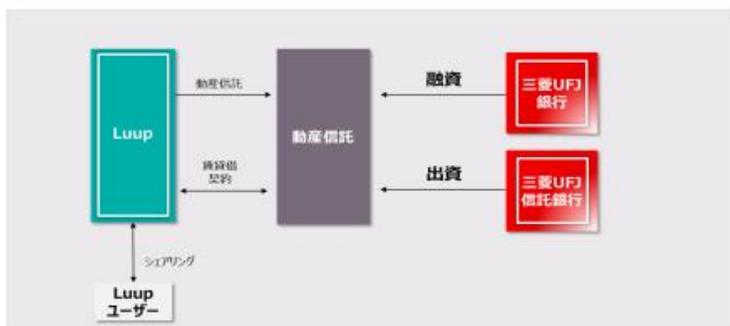
2024年4月25日

株式会社三菱UFJ銀行  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
株式会社Luup

#### 電動アシスト自転車の動産信託等を通じた、 三菱UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行 協働での Luup の事業拡大支援について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一、以下 MUBK）と三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長 長島 巖、以下 MUTB）は協働して、株式会社 Luup（代表取締役社長兼 CEO 岡井 大輝、以下 Luup）が保有する電動アシスト自転車を動産受託することによる、Luup への資金提供を行いました。併せて、MUFG グループ内店舗へのポート設置等も進めることで、グループ一体で Luup の事業拡大を支援してまいります。

【図表1：取組みスキーム図】



本スキームは、Luupが保有する電動アシスト自転車を動産信託の仕組みを通じて譲渡し、その譲渡代金は MUBK からの借入と MUTB からの出資で賄うもので、こうした MUBK・MUTB が協働した動産信託スキーム化は、本邦初です。【図表1】

Luupとしては資金調達手段の多様化が実現でき、MUTBは本スキームを活用して、将来的に電動モビリティの投資商品化も視野に入れております。

更に、MUFGとしては、CO2 排出が少ない新しい移動手段をお客さまや地域住民の皆さまにご活用いただくことで、利便性の向上や脱炭素化などに繋がると考えており、MUFG グループ内店舗等への LUUP ポート設置も進めております。【図表2】。また、街の皆さまに安心してご利用いただけるよう、地域の警察署と連携して共同で安全講習会の開催も行っております。

( <https://www.muftpark.mufta.jp/event/event-1969/> )

# 「交通空白」解消・官民連携プラットフォームへの期待

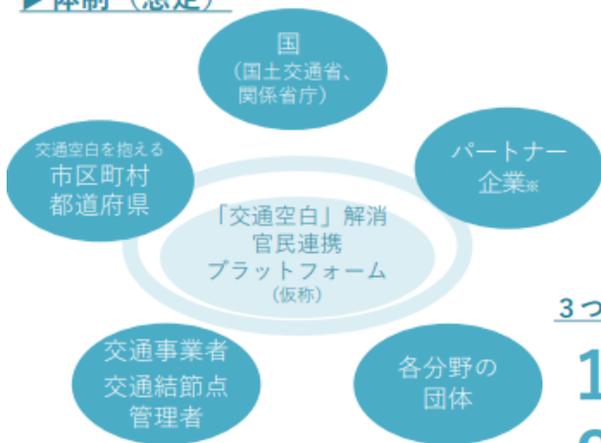
- 「交通空白」解消・官民連携プラットフォームの取組みは、弊社の取組みと高い親和性があると考えています
- また、本プラットフォームを通じて、高い志とソリューションを持つ企業、自治体はじめ、各ステイクホルダーの皆様と一緒に、課題解決に向けたプロジェクトを実現できればと考えています
- 交通空白解消関連のプロジェクトの事業化に向けては、自治体の皆さまのご支援を頂くとともに、弊社は動産信託などファイナンスソリューションを組合せて貢献していきます（公的な保証とファイナンスを合わせるブレンデッドファイナンスの活用など）

「交通空白」解消・官民連携プラットフォーム



三菱UFJ信託銀行

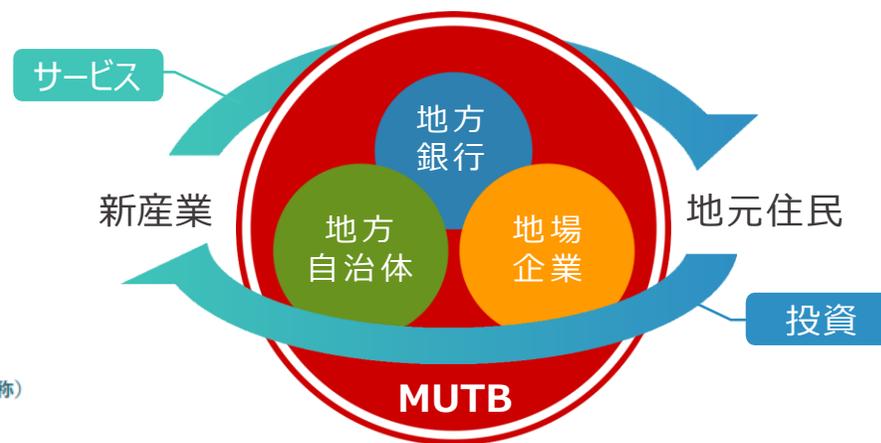
## ▶体制（想定）



### 3つの主な取組

- 1 課題×ソリューションの **マッチング**
- 2 空白解消に向けた **パイロットプロジェクト** (仮称)
- 3 空白解消に向けた **意見交換・セミナー**

## 「地産地消」の金融循環モデルの構築



「安心・豊かな社会」を創り出す信託銀行

*Create a Better Tomorrow*

